

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成25年12月5日(2013.12.5)

【公開番号】特開2012-86517(P2012-86517A)

【公開日】平成24年5月10日(2012.5.10)

【年通号数】公開・登録公報2012-018

【出願番号】特願2010-237396(P2010-237396)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

C 0 9 J 7/02 (2006.01)

C 0 9 J 183/04 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

C 0 9 J 7/02 Z

C 0 9 J 183/04

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月21日(2013.10.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

インクを吐出する吐出口が形成された吐出素子基板の表面に貼り付けられるシールテープであって、

前記表面への貼り付けの際に前記吐出素子基板の表面に接合される粘着層と、前記粘着層を支持するためのベースフィルムとを含み、

前記粘着層は、シリコーン化合物の電子線照射による架橋反応物で構成され、

前記シリコーン化合物は、

(a)式1に示されるポリジメチルシロキサン樹脂を、60質量%以上90質量%以下と、

(b)(R³)₃SiO_{1/2}単位[M-単位]およびSiO_{4/2}単位[Q-単位]で構成されるMQ樹脂(ただし、M-単位のSiに結合する3つの置換基R³は、各々独立してアルキル基、または水酸基を表す)を、10質量%以上40質量%以下とを少なくとも含み、

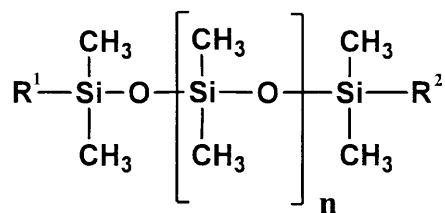
かつ、

前記シールテープの、ASTM D2979に準拠して測定されたプローブタック測定値が、0.3N以上1.6N以下である

ことを特徴とするインクジェット記録ヘッド用シールテープ：

【化1】

式1



(ただし、 R^1 および R^2 は、各々独立して、アルキル基、または水酸基を表し、 n は整数を表す)。

【請求項2】

前記ポリジメチルシロキサン樹脂の数平均分子量は、5万以上50万以下である請求項1に記載のインクジェット記録ヘッド用シールテープ。

【請求項3】

前記MQ樹脂の数平均分子量は、1000以上2500以下である請求項1または2に記載のインクジェット記録ヘッド用シールテープ。

【請求項4】

前記シリコーン化合物の前記ポリジメチルシロキサン樹脂の含有量は、70質量%以上80質量%以下である請求項1乃至3のいずれか一項に記載のインクジェット記録ヘッド用シールテープ。

【請求項5】

前記シリコーン化合物の前記MQ樹脂の含有量は、20質量%以上30質量%以下である請求項1乃至4のいずれか一項に記載のインクジェット記録ヘッド用シールテープ。

【請求項6】

インクを吐出する吐出口が形成された吐出素子基板の表面にシールテープが貼り付けられたインクジェット記録ヘッドであって、

前記シールテープは、保護の際に前記吐出素子基板の表面に貼り付けられる粘着層と、前記粘着層を支持するためのベースフィルムとを含み、

前記粘着層は、シリコーン化合物の電子線照射による架橋反応物で構成され、

前記シリコーン化合物は、

(a) 式1に示されるポリジメチルシロキサン樹脂を、60質量%以上90質量%以下と、

(b) (R^3)₃SiO_{1/2}単位 [M-単位] および SiO_{4/2}単位 [Q-単位] で構成されるMQ樹脂(ただし、M-単位のSiに結合する3つの置換基 R^3 は、各々独立してアルキル基、または水酸基を表す)を、10質量%以上40質量%以下とを少なくとも含み、

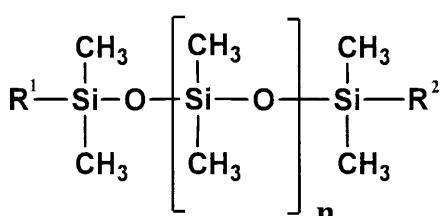
かつ、

前記シールテープの、ASTM D2979に準拠して測定されたプローブタック測定値が、0.3N以上1.6N以下である

ことを特徴とするインクジェット記録ヘッド：

【化2】

式1



(ただし、R¹およびR²は、各々独立して、アルキル基、または水酸基を表し、nは整数を表す)。

【請求項7】

前記ポリジメチルシロキサン樹脂の数平均分子量は、5万以上50万以下である請求項6に記載のインクジェット記録ヘッド。

【請求項8】

前記MQ樹脂の数平均分子量は、1000以上2500以下である請求項6または7に記載のインクジェット記録ヘッド。

【請求項9】

前記シリコーン化合物の前記ポリジメチルシロキサン樹脂の含有量は、70質量%以上80質量%以下である請求項6乃至8のいずれか一項に記載のインクジェット記録ヘッド。

【請求項10】

前記シリコーン化合物の前記MQ樹脂の含有量は、20質量%以上30質量%以下である請求項6乃至9のいずれか一項に記載のインクジェット記録ヘッド。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

上記目的を達成する本発明にかかるインクジェット記録ヘッド用シールテープは、インクを吐出する吐出口が形成された吐出素子基板の表面に貼り付けられるシールテープであって、

前記表面への貼り付けの際に前記吐出素子基板の表面に接合される粘着層と、前記粘着層を支持するためのベースフィルムとを含み、

前記粘着層は、シリコーン化合物の電子線照射による架橋反応物で構成され、

前記シリコーン化合物は、

(a)式1に示されるポリジメチルシロキサン樹脂を、60質量%以上90質量%以下と、

(b)(R³)₃SiO_{1/2}単位[M-単位]およびSiO_{4/2}単位[Q-単位]で構成されるMQ樹脂(ただし、M-単位のSiに結合する3つの置換基R³は、各々独立してアルキル基、または水酸基を表す)を、10質量%以上40質量%以下とを少なくとも含み、

かつ、

前記シールテープの、ASTM D2979に準拠して測定されたプローブタック測定値が、0.3N以上1.6N以下である

ことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

(ただし、R¹およびR²は、各々独立して、アルキル基、または水酸基を表し、nは整数を表す)。

また、本発明にかかるインクジェット記録ヘッドは、
インクを吐出する吐出口が形成された吐出素子基板の表面にシールテープが貼り付けられたインクジェット記録ヘッドであって、

前記シールテープは、保護の際に前記吐出素子基板の表面に貼り付けられる粘着層と、

前記粘着層を支持するためのベースフィルムとを含み、

前記粘着層は、シリコーン化合物の電子線照射による架橋反応物で構成され、

前記シリコーン化合物は、

(a) 式1に示されるポリジメチルシロキサン樹脂を、60質量%以上90質量%以下と、

(b) $(R^3)_3SiO_{1/2}$ 単位 [M - 単位] および $SiO_{4/2}$ 単位 [Q - 単位] で構成されるMQ樹脂(ただし、M - 単位のSiに結合する3つの置換基R³は、各々独立してアルキル基、または水酸基を表す)を、10質量%以上40質量%以下とを少なくとも含み、

かつ、

前記シールテープの、ASTM D2979に準拠して測定されたプローブタック測定値が、0.3N以上1.6N以下であることを特徴とする。